3チャンネル
水力発電ユニット

504-023

取扱施工説明書

施工前・使用前に必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

1. 安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 注意　取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

- ⚠ 気をつけていただきたい「注意」を表します。
- 分解しないでください。
- ⃠ してはいけない「禁止」を表します。
- ❗ 必ず実行していただく「強制」を表します。

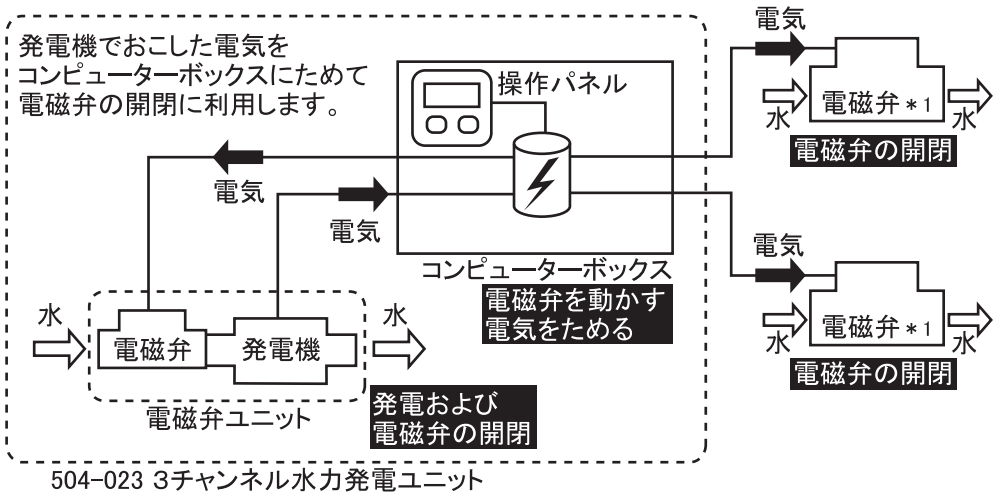
施工上のご注意

⃠	本製品は屋外設置型です。 屋内には絶対に設置しないでください。
	分解・改造はしないでください。 （アダプター等を使ってのAC100Vとの結線など。）
❗	●本品は必ず取外しのできる配管に取付けてください。 ●冬期には凍結破損が予想されるため、電磁弁ユニットを取外してください。 ●本品の二次側では止水しないでください。 ●本品を設置する際は、必ず配管の手前（一次側）にバルブを設置してください。 ●本品を設置する配管の水圧が0.5MPa以上の場合には、減圧弁で水圧を0.5MPa以下にしてください。

使用上のご注意

⃠	植物をいためる恐れがありますので日差しの強いときには水やりを避け早朝か夕方に行ってください。
	分解・改造はしないでください。 （アダプター等を使ってのAC100Vとの結線など。）
❗	●必要な時以外は、コンピューターボックスのフタを閉めておいてください。 ●乾電池は必ずアルカリ電池をご使用ください（マンガン電池は使用しないでください）。 ●電磁弁ユニットの上に重いものをのせたり、はげしくたたいたりしないでください。 電磁弁ユニットが破損したり、変形したりする恐れがあります。

2. しくみ



＊1:電磁弁(504-031-13～50)は別売品です。

3. 仕様

●仕　様

用途	屋外潅水用
通水流体	水（上水道水・工業用水）
流体温度	1～40℃
作動水圧	0.1～0.5MPa
バックアップ電源	1.5V単3形アルカリ電池 6個（交換目安3年）
設置場所	屋外

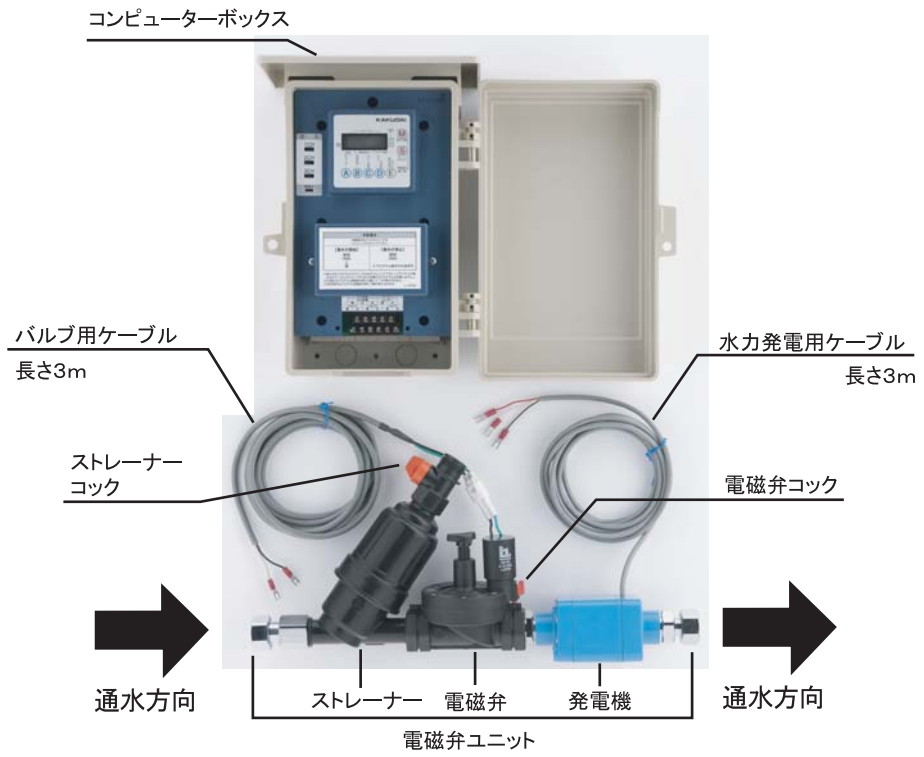
＊水やり設定の仕様はコンピューター設定説明書を参照してください。

●性能表(参考値)

水圧（MPa）	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5
水量（L/分）	8.0	18.0	29.0	38.0	45.0

●十分な発電量を確保するため、二次側流量が8.0L/分以上必要です。
●8.0L/分以上の水量で満充電にするには約30分間通水する必要があります。

4. 各部のなまえ



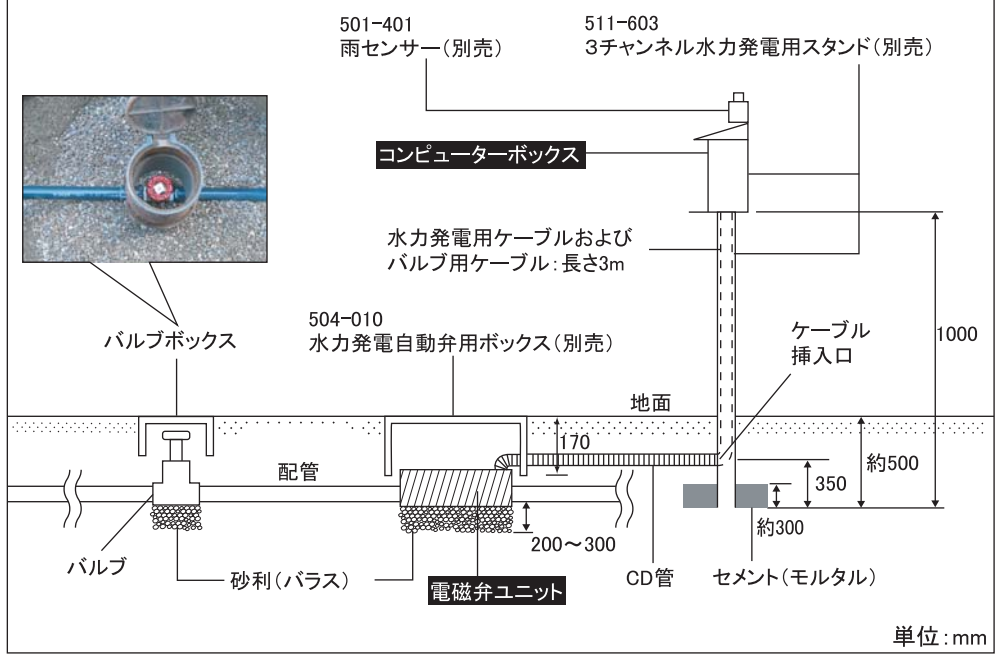
5. 取付けの前に

＊取付けの前に下記の事項を確認した上で取付作業を行ってください。

(取付けにあたっての注意事項)
●本品を取付ける前に、「2.しくみ」「3.仕様」の内容を確認してください。
●本品を取付ける前に、下記の(施工例)のように必ず配管の手前（一次側）にバルブとバルブボックスを設置してください。
●設置場所を決定する際は、水力発電用ケーブルおよびバルブ用ケーブルの長さに余裕があるようにしてください。
●水力発電用ケーブルおよびバルブ用ケーブルは必ず樹脂管（CD管）などを通し、防水テープなどで防水してから配線してください。

(施工例)

下図はコンピューターボックスを3チャンネル水力発電用スタンド(511-603:別売)を使用して埋設した場合の施工例です。
また、3チャンネル水力発電用スタンドを使用せずに、壁面などへ直接コンピューターボックスを設置することも可能です。



次頁へ続く➡

KAKUDAI

3チャンネル
水力発電ユニット

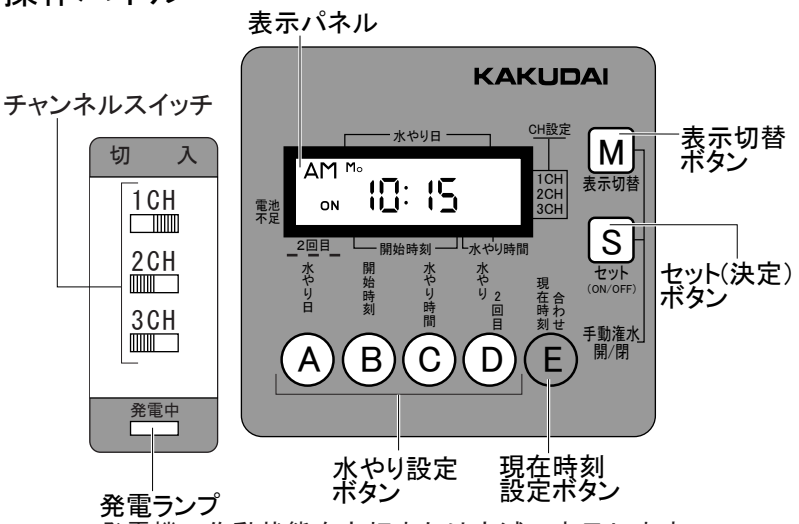
コンピューター設定説明書

＊ 初期設定およびバックアップ用に別途1.5V単3型アルカリ電池(6コ)が必要です。
＊ 同梱の「取扱施工説明書」と合わせてご覧ください。

使用前に必ずお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

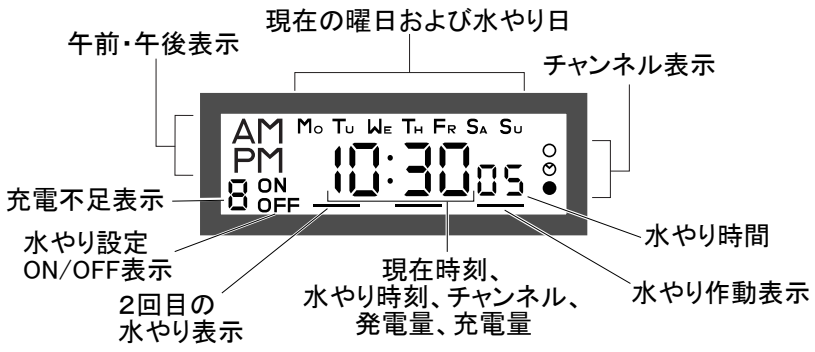
1. 各部のなまえと表示

●操作パネル

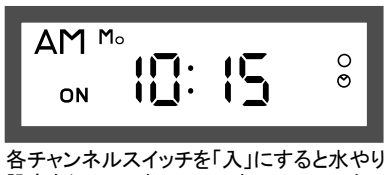


＊発電機の作動状態を点灯または点滅で表示します
（通水してから数秒後に点灯または点滅します）。

●表示パネル
（説明のためにすべてを表示させたもので実際の表示ではありません。）



現在時刻表示(通 常)



各チャンネルスイッチを「入」にすると水やり設定を行っていないチャンネルのチャンネル表示と「ON」表示が点滅します。

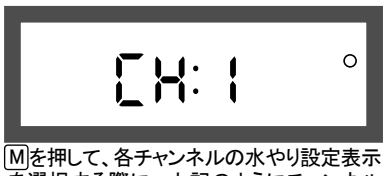
水やり表示(水やり中)

複数のチャンネルが同時に水やりを行っている場合は、水やりを行っているチャンネルのチャンネル表示が点灯します。

1回目の水やり設定表示

2回目の水やり設定表示

チャンネル選択表示



Mを押して、各チャンネルの水やり設定表示を選択する際に、上記のようにチャンネル番号が表示されます。

充電量表示

水力発電によって充電されている電気の容量が表示されます。

＊通常は現在時刻表示です。
＊水やり設定表示を30秒間放置すると、自動的に現在時刻表示になります。

1. 各部のなまえ(つづき)

●チャンネルスイッチ
チャンネルスイッチは各端子に接続されている電磁弁に対応しています。

＊チャンネルスイッチを「切」にすると、そのチャンネル(電磁弁)の自動での水やり、手動での水やり、ともに実行されません。
＊水やり設定を行う際は、設定したいチャンネル(電磁弁)のチャンネルスイッチを「入」にしてください。

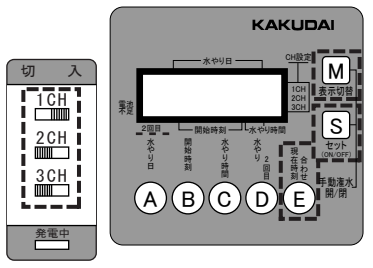
チャンネルスイッチ	接続端子
1CH	1CHバルブ
2CH	2CHバルブ
3CH	3CHバルブ

2. 水やり設定の仕様

水やり日の間隔	毎日、1日間隔、2日間隔、7日間隔
1日の水やり回数	1回 または 2回 ＊1日1回の場合は2回目を設定なしにします。
水やり設定	1回目および2回目:AM12:00 ～ PM11:59 (1分単位で設定可能)
	手 動:随時実行可能
チャンネル数 (制御可能な電磁弁の数)	3チャンネル ＊付属の電磁弁ユニットを含む。
1回の水やり時間	自動での水やり:1～99分間 (1分間単位で設定可能)
	手動での水やり:30分間(固定)

3. 現在の時刻を合わせる

①表示を切り替える。

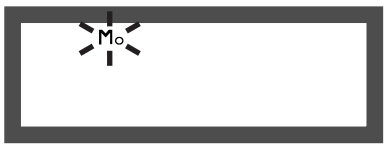


いづれかのチャンネルスイッチを「入」にします。
Mを押し、表示を点滅させます。
Eを押し、“AM”、“PM”、“12:00”、“Mo Tu We Th Fr Sa Su”のみを点滅させます。

＊一度合わせた時刻を修正する時にMを押すと水やり設定表示なりますがそのままEを押してください。

②“曜日”を設定する。

Eを押し、“曜日”の表示を点滅させ、さらにEを押し、“曜日”を選びます。



Sを押し、“曜日”を決定します。

Eを押すたびに“曜日”の表示が移動します

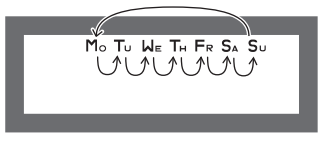
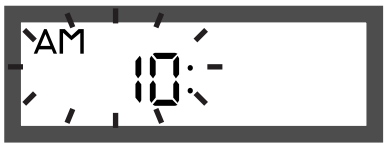


表 示	Mo	Tu	We	Th	Fr	Sa	Su
曜 日	月	火	水	木	金	土	日

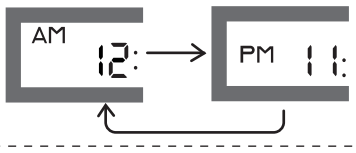
③“時”を設定する。

Eを押し、“時”を選びます。



Sを押し、“時”を決定します。

Eを押すたびにAM12時(午前0時)からPM11時(午後11時)の間で1時間ごとに表示が進みます。

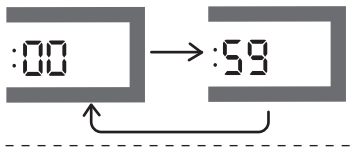


④“分”を設定する。

Eを押し、“分”を選びます。

Sを押し、“分”を決定します。

Eを押すたびに0分から59分の間で表示が進みます。



次頁へ続く ➡